



愛知県板金工業組合  
発行 広報委員会  
名古屋市昭和区北山町  
3-8-6 〒466-0006  
電話 052-732-1226

### 厨房空調に関する講習会

平成29年10月28日(出)、午後12時30分より県板事務所3階にて厨房空調委員会主催の講習会が行われた。組合員20名、石原機械株式会社より3名、マックス株式会社より1名が参加した。

司会を大山耕平氏(瀬戸支部)が務め、厨房空調委員長の松隈信男氏が



▶講習会風景

「この講習会の内容を現場で一つでも活かしてもらいたい」と挨拶した。続いて小野寺俊一理事長が「ダクト工事を通じて、建築板金の仕事も広がる事があるので、しっかりと勉強して仕事に繋いでほしい」と述べた。

講師は厨房委員会から 大山 耕平氏(瀬戸) 森田 雄次氏(東三) 榊原 敬二氏(知多) ダクト工事の一線で活躍している人達ばかりである。

最初の講義はダクトの目的や用途の説明、計算式を用いてのダクトのサイズや送風機の選択、それに合わせてどの様な物を使用したら良いかを解りやすく説明した。続いて、ダクト施工例

では、排気ダクトに溜まる油を掃除しやすくするなど、使用する人の気持ちに立った思いやりのある厨房ダクトの施工例が紹介された。

集塵・粉塵などのダクトの講義では、木工所のサイクロン式集塵機を例に挙げ、塵の落ち方、塵詰まりの対処、ダンパーの使い方、点検の注意事項などの説明があった。

ダクトで法律に関する事では消防法などがあるが各地域で内容が異なる事があるので事前に調べておく必要があり、また、労働基準監督署も関連してくるので注意が必要と説明があった。

他にもいろいろいな説明もあり濃い講習会であった。約4時間はあっという間に過ぎ、松隈氏の閉講の辞にて終了した。ダクトは安全に施工するのはもちろん、目的や用途をきちんと把握し、しっかりと計算とプラスタルフアが必要であると思つた。

榎谷(知多支部)

### 県板青年部

### 次世代研究会in大阪

県板青年部は9月9日(出)・10日(日)に大阪にて行われた次世代研究会に新幹線にて14名で参加した。

会場の「シティプラザ大阪」へ到着後、阿知和司部長、原田裕治書記(共に岡崎)、赤池義徳書記(豊田)は会場前廊下の展示ブースへと向かい、愛板青年部全員で考案・作成したLINEスタンプ『がんばれブリキくん』をPRした。

その日の為の特製Tシャツと競技大会日本一の堀井貴義副部长(知多)に製作してもらつた『ブリキくんレリーフ』を準備し、受付を済ませた全国の青年部員にチラシを配つた。

今回のメインテーマは「最高のチームワークを生み出すリーダーの条件」で、全国から251名の青年部員が集まつた。

1日目は2つの講演が行われ、午後6時30分からは懇親会があり全国の青年部員達と意見を交わし、交流を深めた。その後愛板メンバーは会場を移動し、中板協青年部主催の懇親会へも参加し更に交流を深めた。

スカッシュオンへと移つた。25組のグループに分かれ、この先目指したい理想の仕事や自分、周りの家族やお客さんとの関わりについて意見を交わし、各グループが発表した。

最後に1年後の自分へ宛てた「未来への手紙」を書いて閉会式があり次世代研究会は閉会した。

予約していた会場で昼食をとり再び新幹線にて帰路に着き全員無事に名古屋へと戻り、解散した。スタンプのPRも予定通りでき、その場でダウンロードしてくれる部員もいて、全国の青年部員と共有するものができて手ごたえのある次世代研究会となつた。

### 岡崎支部青年部

### 救命講習会を開催

岡崎支部青年部は、10月29日(日)、岡崎市消防本部において救命講習会を開催した。今回の講習会は、3時間の講習でAED、人口呼吸、胸骨圧迫などの成人に対する心肺蘇生

法、止血法などの実施訓練をする普通救命講習1というものであった。他に救命45分入門コース、救命90分入門コース、小児や乳児を対象にした普通

(2頁へつづく)



▶LINEスタンプ『がんばれブリキくん』のPR

(1頁よりつづき)

救命講習3、8時間の上級救命講習などがある。普通救命講習1は受講者5名につき指導員1名が必要であることから、午前の部と午後の部に分かれ計9名の組合員が受講した。

心肺蘇生法の訓練では初めのうちは手順を間違えたりしたが、何回も繰り返し返すうちに上手にできるようになった。続いて、救急通報訓練をし、代表1名が実際に119番に電話をかけ、通信指令員とのやりとりをした。講習の最後に修了証をいただき講習は終了した。

私は20年ほど前に地元での防災訓練で心肺蘇生法の訓練を受けたことがある。当時AEDの使用は使用者が制限されていた。一般市民は使えなかったのが当然講習もなかった。今回の講習を受けて多くのことを再認識した



北部豪雨での活躍で一躍有名となったレッドサラマンダーが配備されている。これは東日本大震災の教訓をもとに総務省消防庁が平成25年3

と同時に、新しいことも学んだ。例えば、倒れている人を発見し、一次救命処置の必要を確認したら声を出して人を集め、チームとして一次救命処置をすること。胸骨圧迫を継続して脳に血液を供給することが重要なこと。AEDは自動的に心電図を解析し、心室細動以外(正常や心停止)では電気ショックを与えないで「胸骨圧迫を続けてください」などと指示してくれることなどである。また、修了証には「救命技能を忘れることなく維持向上させるため、2年から3年間隔で定期的に講習を受けてください」とある。是非そうしたいと思う。

話は変わるが、岡崎市消防本部には今夏の九州北部豪雨での活躍で一躍有名となったレッドサラマンダーが配備されている。これは東日本大震災の教訓をもとに総務省消防



組合では10月3日より予てから取組みされていた会館の改修工事を足場掛けから着手した。工事の規模については総務委員会での議案し、谷倉委員長下で決定された。

板金会館大規模改修

月に配備した全地形対応で災害対応の消防車であり、日本で1台しかないものである。講習後、消防署の計らいで見学することができた。朝来た時は普通に駐車されていた

が、この日は台風22号の接近のため講習後には既に専用運搬車両に載せられて出動に備えていた。いろいろな面で得した半日となった。

安形(岡崎支部)

の他となる。外装は青年部が主となり施工し、内装は大昭建設さんに工事依頼をした。

11月1日現在の進捗状況は内装工事が9割完了、外装の地下工事が進められている。来春号は40年近く衰えた会館の眩しく芽生える姿が掲載されることを期待したい。

担当委員 後藤

10月度の動き

- 【県板】
1日 青年部幹事会
於 組合会議室
出席者 理事長
広報委員会
4日 全板連・日板協
正副理事長会/会長会
於 東京板金会館
出席者 理事長
経営研究委員会
厨房空調委員会
中核青年部技能競技大会に
向けた実技講習会・意見交換会
10日
11日
14日

【各支部】

- 名古屋板金連合会
6日 支部長会
・今後の活動について
6日 職人展反省会
27日 支部長会
・県板新年懇親会について
他
津島支部
5日 定例会
西三板金連合会
12日 第2回役員会
・第50回総会について
・県板、支部等報告
19日 総会準備会
・会場下見等準備
岡崎支部
29日 青年部救命講習会9名
豊田支部
2日 第6回役員班長会11名
・県板等各種報告
西尾支部
28日 青年部ボウリング大会
(スターボウル) 15名

編集後記

この10月は秋雨前線や台風の影響で雨ばかり。現場は思うように進まないうえに、台風被害の現場調査や見積作成で大変

でした。(未だ現在進行系ですが・・・)勝手なもので、仕事が少ない時は台風被害も有り難く思え、仕事が詰んでいる時は正直勘弁してほしいと思ってしまう。(汗)

実は台風には苦い経験がある。もう10年前程の事。10月上旬の夜中にこの地方を直撃した台風により、翌朝から電話はなりっぱなし。おまけに停電もしていた為パソコンも使えなく全てメモにて対応。ご新規さんなのかOBさんなのかも分からず、訪問の優先順位も行き当たりばったり。当時は営業スタッフも居らず私一人で何十件も対応できるはずもなく、数日後には「一体何時になったら来てくれるだ?あなたんとこはやる気あるだか!」とお怒りの電話も多数。結局仕事の受注よりも信用を失くす事になってしまった。

何事も程々が一番良いのかも。
M

十一月一日(水)
五四二号 編集会議
広報委員 四名
後藤副理事長 出席
午後二時半開会
五時閉会